

# 三好十郎と菊池寛の描いた世界と現代社会のつながりを探る

演劇史に綺羅星のように輝く戯曲では、何が語られているのか。戯曲を通じて作家を研究し、当時の時代や価値観を知ることで、現代社会を見つめ直します。研究発表の後には、ゲストを招いてのシンポジウムを開催します！

1902年～1958年

詩人・小説家・劇作家。佐賀県佐賀市の生まれ。両親の愛を知らず母方の祖母に育てられる。12歳の時に母と死別。親戚その他の家を転々とし、労働に従事する日々を送る。飢えと戦いながら早稲田大学英文科を卒業。プロレタリア詩人として活躍後、劇作に転じ、処女戯曲「首を切るのは誰だ」を発表。「疵だらけのお秋」「炭塵」などプロレタリア戯曲の名篇を書く。戦後、1946年2月より、「戯曲研究会」を主催。「廢墟」「猿の図」「その人を知らず」「胎内」等で自らの戦中姿勢を観念的かつリアリスティックに追及。1951年、大映演劇部の研究会「一步会」の顧問となり、後に戯曲座と呼称し、主催する。同年9月、「炎の人」を劇団民芸初演、10万人の観客を動員する。第三回読売文学賞受賞。1958年12月16日永眠。

三好十郎

Miyoshi Juro

菊池寛

Kikuchi Kan

1888年～1948年

小説家・劇作家。香川県高松の生まれ。経済的に苦しみながら、勉学に励み、第一高等学校（現代の東京大学教養部）文学科に入学。親友となる芥川龍之介らと出会う。卒業後は、時事新報社に入社。「屋上の狂人」「父帰る」を発表するが、世間に認められるまでには至らずも、「無名作家の日記」「恩讐の彼方に」が評判になり、文壇的地位を確立する。1923(大正12)年、「文芸春秋」を創刊。1926(大正15)年、日本文藝家協会を組織。1935(昭和10)年には、芥川賞、直木賞を設立する。太平洋戦争中、文芸戦後運動を推進、国民文学報国会の理事に就任している。戦後、公職追放の指令を受ける。1948(昭和23)年、死去。主題を明確にした知的作風で知られ新理知派と称される一方、麻雀や競馬を嗜好したことでも知られる。

## ゲストパネラー

### 青井陽治（演出家・翻訳家・訳詞家・劇作家）

69年に研究生として劇団四季に入り、多数の公演に出演しながら、翻訳・訳詞・劇作を始める。76年からフリー。海外作品の上演、ミュージカルの創作に独自の世界を拓く。演劇教育にも積極的に携わり、次代の劇場人と共に次代の演劇を模索する。東京藝術大学音楽学部では、ミュージカル概論を10年にわたり担当した。主な作品に、ニール・サイモンのBB三部作『ブライトン・ビーチ回顧録』『ビロクシー・ブルーズ』『ブロードウェイ・バウンド』の他『ラヴ・レターズ』『あなたまでの6人』『海の上のピアニスト』『石棺』『コーパス・クリスティ』『ふりだした雪』、ミュージカルに『ラ・カージュ・オ・フォル』『42nd Street』『GODSPELL』『Hedwig and the Angry Inch』『努力しないで出世する方法』『Gank'tsu-Oh!(岩窟王)』など。

## 公開研修について

研究・稽古現場の見学が可能です。

○料金：**500円**（協会員無料）

※500円で、何回でも見学可能です。

見学をご希望の方は、下記お問い合わせ先にてお申し込みください。

【お問い合わせ先】

メール：[kindai.gikyoku@gmail.com](mailto:kindai.gikyoku@gmail.com)

（「日本の近代戯曲研修セミナー in 北海道」実行委員会）

## アクセス

### シアター Z00

札幌市中央区南11条西1丁目ファミール中島公園B1F  
○地下鉄南北線「中島公園駅」1番出口より徒歩5分

